

## 令和3年5月臨時記者会見

### 【説明】

#### 〔ワクチン接種のスケジュールと取組・ワクチン接種業務に携わる医師看護師募集〕

**市長** 先日国から高齢者のワクチン接種終了時期に関するアンケート調査がありました。生駒市は、7月末を目指すとは回答しましたが、非常に厳しいものであると考えています。生駒市では、年明け早々にワクチン接種専属のチームを立ち上げ、早い段階から対応していますが、調整事項も多く、国からのワクチン供給が遅れていたことなどもあり、65歳以上の全ての市民の接種が終わるのは、9月末頃と予測していたところです。しかし、国から7月末までに終了できるようにワクチンも潤沢に供給することですので、国、県の支援を頂きながら7月末を全力で目指していくために、スケジュール調整を急ピッチで行っています。その取組の概要と接種のスケジュールを説明します。

65歳以上の接種数は、市内の高齢者数35,600人に対して接種率を80%と想定し、2回接種で、約57,000回となります。現状の体制では、集団接種、病院、診療所、高齢者施設等で6～7月に約26,000回接種できる見込みでしたが、7月末までに全て終わるとなると現状の2倍以上の接種体制が必要となりますので、土日に行う集団接種を平日にも開催すること、市立病院で午後2時間の接種時間を延長すること、接種できる診療所数を増やすこと、高齢者施設での接種体制の強化を行うことなどを考えています。それらを実現させるための具体的な取組として、1つ目は、市独自に接種報酬を上乗せします。国からは接種1回2,070円の報酬が示されています。通常の予防接種に比べても単価が低いという批判もあり、時間外、土日の接種金額が見直されましたが、接種してもらう診療所数を増やすためにも、市独自で500円上乗せをしたいと考えています。もう一つは、平日に実施する集団接種で、問診対応して頂くため、医師等の公募を行います。具体的には、医師10名、看護師20名で、現在子育て中の方も想定して託児の対応もします。

また、5月末からは、市立病院に加え、白庭病院、近畿大学奈良病院で接種を開始し、阪奈中央病院でも接種時期を調整中です。診療所については、6月の初旬から接種できるよう医師会と調整をしており、今後、診療所数も増やしていきたいと考えています。

接種の予約手続では、全国的に電話での予約が混乱して大きな問題となっていますが、生駒市では、他自治体とは異なった方法で実施しています。当初85歳以上に限定して予約を受付しましたが、5,600人に対して650人分のワクチンしかなく、コールセンターを設置し、電話回線を40回線確保しておりましたが、対応しきれない状態となりました。このことを踏まえ、接種の希望をはがきでお聞きしたうえで、接種希望者には接種の日時を指定した決定通知を行い、変更等が生じた場合のみ電話で調整を行います。現在85歳以上の方につきまして、2,700人の返信があり、既に2,200人に決定通知書を送り、残りの方も通知を送る準備をしておりますので、ほぼ予約が完了する見込みです。

75歳以上84歳までの13,000の方につきましては、同様の方法で、5月19日に予約のはがきを送付する予定です。65歳から74歳までの方につきましても、予約体制を整備しながら、5月末には接種券を郵送し、早い段階で受付をしたいと思っています。この予約方法の変更では、予約に対して安心感を持ってもらえ、1回目と2回目の予約が同時に出来ており、体調不良等の予約変更についても比較的スムーズに調整ができております。

なお、急なキャンセルが出た場合は、ワクチンが無駄にならないよう、まずは現場で対応している市職員の保健師に接種します。既に3人に接種しており、今後キャンセルが出た場合は、保健師の他、現場で市民と接触する機会が多い、生活保護のケースワーカー、保育士、幼稚園教諭に接種する考えです。

## 【 質疑応答 】

**記者** 混乱している接種予約の手続きを、あえてアナログ的な郵便という方法で解決したことに対する意見と、先駆的な取組について全国の他の自治体に対するアドバイス等がありますか。

**市長** 一部に受付を急いでほしいなどの意見もありますが、確実に混乱も無くなったということで、概ね好意的な意見を多く頂いています。自治体の規模の差もあり、いろいろな方法があるとは思いますが、電話対応ではいくら回線数を増やしても限界があり、今回の予約方法には向かないと考えています。インターネットも利用できない方も多く、郵便では往復の時間もかかりますが、今回の予約方法では一番合理的であると思っており、他の自治体で参考にされたいところがあれば、ノウハウ等はお伝えしたいと考えています。

**記者** 国、県から7月末までに高齢者の接種を終わらせるという意向がありましたが、実際に終わることができるのかということと、また、県の研修医を200名派遣するという支援策を活用してということになりますか。

**市長** 国からの意向調査があり、結果を公表するということもあり、生駒市だけが実施できないということはなかなか言いにくい状況でした。国も全力で支援していくという中で、目標として目指していくところなんです。9月末でも厳しいと考えていたところを、前倒しにするのは相当厳しいもので、現時点で確実に7月末までに実施できるというものではないということは、ご理解頂きたいと考えています。今後ワクチンは潤沢に供給されるとのことでありますが、接種報酬の引き上げ等国からの支援も期待しています。県からの医師派遣支援については、詳細はまだ不明で、現時点ではそれを計算に入れずに対応を考えています。

**記者** 接種のスピードアップは集団接種がポイントだと思っています。現在医師は土日で9人体制と聞いていますが、追加の平日に対して、公募を含め対応の体制はとれますか。

**市長** 医師会には更に協力をお願いしていきたいと思っていますが、それを補完するための公募になります。

**記者** キャンセルが出た場合接種する予定の保健師と医療関係者の職員の人数を教えてください。

**市長** 後ほどお伝えします。

**記者** キャンセルが出た場合に接種する職員の順番は決まっていますか。

**市長** 現場にいる保健師から優先して接種することになると思います。職種により優先順番は決めませんが、事前に詳細な順番までは決めていません。

**記者** 申込対象は市立病院以外もありますか。

**市長** 集団接種と市立病院については市への申込みとなりますが、診療所については調整中です。

**担当部長** 市内病院等も市への申込みと考えていますが、今後の状況により変更になる可能性があります。

**記者** 85歳以上については、接種開始はいつからですか。

**担当部長** もう既に始まっています。

**記者** 75歳以上はいつからですか。

**担当部長** 6月から接種して頂けます。

**記者** 65歳以上の予約方法等の対応は決まっていますか。

**市長** 電話予約は考えていません。人数も増えてきますし、まだ未定ではありますが、現時点では、インターネットと郵送の組み合わせが良いのではないかと考えています。

**記者** 65歳以上はいつごろから申込みできますか。

**市長** 5月末に接種券を郵送する予定です。75歳以上の方の受付状況を見ながらとはなりますが、7月末までの接種完了を考えると、6月の早期から申込みを受け付け、接種を始めたいと考えています。

**記者** 市長は接種していますか。また、特別扱いで接種した人はいますか。

**市長** どちらもありません。

**記者** 協力される医師の中に歯科医師は含まれますか。

**市長** 神戸市の例では、歯科医師は問診ではなく接種の協力であると聞いています。接種は看護師が対応できるので、問診ができる医師を募集したいと考えています。

**記者** 託児対応は市で準備するということですか。

**市長** 例えば、コミュニティセンターでは「みっきランド」があり、そこで対応できますし、応援して頂く医師や看護師の方には安心して従事して頂けると思います。

**記者** 独自の接種報酬の上乗せ分は市の財源になりますか。

**市長** 国からのコロナ関連の交付金の残金以外は市の持ち出し分となります。国には引き続き報酬の引き上げをお願いしていきたいと思っています。

**記者** 接種のスピードアップをするのに、国に求めたいことはこの報酬アップですか。

**市長** お金の問題ではありませんが、まず、市でも医師確保の最大限努力はしますが、足りない部分は支援して頂きたいと考えています。寝たきり状態の方には訪問して接種となりますので、接種後の経過観察などの対応等、国からのきめ細やかな支援をお願いしたいと考えています。

**記者** 首長に対して先行して接種をするということに対して賛否両論がありますが、市長はどう考えていますか。

**市長** 今回問題となっている首長は、きちんと住民に説明をしなければならないと思います。コロナ対応をしている首長や職員が先行して接種することは、一つの考え方として理解します。以前には新型インフルエンザの時に国から首長は先に接種するよう通知がありましたが、今回それが無い中で、キャンセル分だとしても市長が先行して接種することは、市民の大部分の理解を得ることが難しいと考えています。

**記者** まん延防止対策など県の対応が遅れていると非難されていることに対してどう思われますか。

**市長** 既に市長メッセージは出しています。生駒市でも自宅療養中の方が推定40名ほどおり、自宅できちんと療養できるのか、他の家族に感染させないのか、など大きな不安を抱えておられます。また、生駒市立病院でも軽症・中等症の患者を受け入れていますが、重症化しても受け入れ先がなかなか確保できないなど、様々な問題に直面しています。生駒市では独自の緊急警報を出して対応をしておりますが、まん延防止措置等を実施するなどし、県としての対応をしっかりと頂くようお願いしたいと思います。

**記者** 自宅療養者の情報提供に関して何か働きかけをしていますか。

**市長** 先日市長会として県に要請をしていますが、今のところ返答はありません。

**記者** 市立病院で重症化されている患者の数は。

**市長** 病院長からは重症化する患者の対応が大変であるということは聞いていますが、人数までは把握していません。

(その他の質問)

なし

(了)